

トウキ (アンジェリカ)



ビャクシ



サンシシ



清熱薬の臨床応用



チョウジ (クローブ)



黄懷龍



一、概 念

（一）清熱藥とは

裏熱を清泄する薬物を清熱薬という。

清熱薬は寒涼の性質により、清熱、瀉火、解毒、涼血、透熱、滋陰などの効能をもつ。

「内経」の「熱者寒之」の原則に基づいて、温熱病高熱、瘡瘍腫毒、湿熱瀉痢、陰虚内熱など症候に用いられる。

(二) 清熱藥の分類

効能の違いによって、以下のいくつに分けられています。

- 清熱瀉火薬 → 気分実熱証
- 清熱涼血薬 → 血分実熱証
- 清熱燥湿薬 → 湿熱内蘊証
- 清熱解毒薬 → 瘟疫毒痢、瘡瘍腫毒など
- 清退虚熱薬 → 陰虚内熱、骨蒸潮熱など

裏熱証

二、清熱藥の効能と応用

1、清熱瀉火藥

藥 名 (歸經)	性味	効能効果	一般用量 g
石 膏 (肺、胃)	辛 甘 / 大寒	清熱瀉火、去煩止渴、 清熱收斂	15~60
知 母 (肺、胃、腎)	苦甘 / 寒	清熱瀉火、滋陰潤燥	6~12
芦 根 (肺、胃)	甘 / 寒	清熱生津、泄熱止嘔	15~30
天花粉 (肺、胃)	苦微甘 / 寒	清熱生津、消腫排膿、 中期妊娠中止 (注射)	10~15

山梔子 (心、肺、胃、三焦)	苦/寒	瀉火除煩、清熱利湿、 涼血止血、解毒消腫	3~10
夏枯草 (肝、胆)	辛苦/ 寒	清泄肝火、清熱散結	10~15
竹 葉 (心、肺、胃)	辛苦/ 寒	清心除煩生津、清熱利尿	6~15
寒水石 (胃、腎)	辛鹹/ 大寒	清熱瀉火、外用 (風熱火眼、 咽喉腫痛、やけどなど)	10~15

2、清熱燥湿藥

藥 名 (歸經)	性味	效能效果	一般用量 g
黄 芩 (肺、胆、胃、腸)	苦/寒	清熱燥湿、瀉火解毒、 涼血、清熱安胎	3~10
黄 連 (心肝胃)	苦/寒	清熱燥湿、清熱瀉火、 清熱解毒	2~10
黄 柏 (腎膀胱大腸)	苦/寒	清熱燥湿、瀉火退虚熱、 瀉火解毒	3~10
竜胆草 (肝 胆)	苦/寒	清熱燥湿、瀉肝降火	3~6
苦 参 (心肝胃)	苦/寒	清熱燥湿、去風殺虫、 利尿	3~10

3、清熱涼血藥

藥 名 (歸經)	性味	效能效果	一般用量 g
生地黄 (心、肝、腎)	甘苦/寒	清熱涼血、滋陰生津	10~30
玄 参 (肺、胃、腎)	苦鹹甘/寒	清熱養陰涼血、 解毒散結	10~15
犀 角 (心、肝、胃)	苦鹹/寒	清心定驚、涼血解毒	1.5~6
牡丹皮 (心、肝、腎)	苦辛/微 寒	清熱涼血、活血散瘀、 退虛熱	6~12

赤芍藥 (肝)	苦 / 微寒	清熱涼血、祛瘀止痛	6~15
紫 草 (心、肝)	甘 / 寒	涼血活血、解毒透疹	3~10

四、清熱解毒藥

藥 名 (歸經)	性味	效能效果	一般用量 g
金銀花 (肺、胃、大腸)	甘/寒	清熱解毒、疏風風熱、 涼血解毒	10~15
連 翹 (肺、心、胆)	甘/微寒	清熱瀉火、解毒散結	6~15
蒲公英 (肝、胃)	苦甘/寒	清熱解毒	10~30
紫花地丁 (心、肝)	苦辛/寒	清熱解毒、涼血消腫	10~15

大青葉 (心、肝、胃)	苦鹹/ 大寒	清熱解毒、涼血化斑	10~15
牛黃 (心、肝)	苦/涼	清熱解毒、息風止癇、 化痰開竅	0.1~0.3
魚腥草 (肺、腎、膀胱)	辛/微寒	清熱解毒排膿、 利水通淋	9~30
白頭翁 (大腸)	苦/寒	清熱解毒涼血	6~15
敗醬草 (胃、大腸)	辛苦/ 微寒	清熱解毒、消癰排膿、 涼血行瘀	6~15

射干 (肺)	苦/寒	清熱解毒、利咽、 消痰散結	6~10
土茯苓 (肝、胃)	甘淡/平	除湿解毒、利關節	10~15
山豆根 (肺)	苦/寒	清熱解毒、利咽	3~9
白花蛇舌草 (肝、脾、胃、 大腸、小腸)	苦甘/寒	清熱解毒消癰、利湿通淋、 肺、胃、食道癌に	15~30

二、清熱代表方劑

方劑名	組 成	効 能	主 治
白虎湯	石膏、知母、甘草、粳米	清熱生津	陽明氣分熱盛
清營湯	犀角、生地黄、玄参、麦門冬、銀花、連翹、黃連、竹葉	清營透熱、養陰活血	邪熱伝營
黃連解毒湯	黃連、黃芩、黃柏、山梔子	泄火清熱解毒	すべての実熱火毒、三焦熱盛の症
茵陳蒿湯	茵陳蒿、山梔子、大黃	清熱利湿、退黃	湿熱黄疸

竜胆瀉肝湯	竜胆草、黄芩、梔子、車前子、沢瀉、木通、生地黄、当帰、柴胡、生甘草	瀉肝胆実火、清下焦湿熱	肝胆実火の上炎、湿熱下注
青蒿鱉甲湯	鱉甲、青蒿、生地黄、知母、牡丹皮 —	養陰透熱	温病後期の陰液耗傷、邪伏陰分。



ありがとうございました！